

## 地域人材ネット

### 地域から発信する「ローカルジャーナリスト」の実践と育成

田中 輝美 ( たなか てるみ )

ローカルジャーナリスト



#### ○ 登録者情報

##### 所在地

島根県松江市

##### 略歴

1999年 山陰中央新報社入社  
2011年 一般社団法人日本ジャーナリスト教育センター設立  
2013年 琉球新報社との合同企画「環りの海」2013年度新聞協会賞受賞  
2014年 山陰中央新報社退社、独立  
2016年 島根県「今後の県立高校の在り方検討委員会」委員(～2017年)  
2016年 『地域ではたらく「風の人」という新しい選択』第29回地方出版文化功労賞受賞、第2回島根本大賞受賞  
2016年 第11回口ハスデザイン大賞2016ヒト部門大賞受賞  
2017年 『ローカル鉄道という希望』第42回交通図書賞奨励賞受賞  
2018年 株式会社MYTURN設立  
2018年 平成28年度ふるさとづくり大賞奨励賞受賞

## 著書・論文等

『ローカルジャーナリストガイド』(日本ジャーナリスト教育センター)2018年  
『関係人口をつくる一定住でも交流でもないローカルイノベーション』(木楽舎)2017年  
『よそ者と創る新しい農山村』(JC総研ブックレット)2017年  
『ローカル鉄道という希望—新しい地域再生、はじまる』(河出書房新社)2016年  
『地域ではたらく「風の人」という新しい選択』(ハーベスト出版)2015年  
『未来を変えた島の学校—隠岐島前発ふるさと再興への挑戦』(岩波書店)2015年

## ○ 地域から発信する「ローカルジャーナリスト」の実践と育成

### 取組の内容

2014年、長年育ててもらった地元・島根県の地方紙「山陰中央新報社」を退社し、独立。島根に暮らしながら、地域のニュースを外に発信する「ローカルジャーナリスト」という肩書きをつくり、活動しています(2018年商標登録)。追いかけているテーマは人口減少時代の地域再生です。地域に多様に関わる「関係人口」やローカル鉄道を生かした地域再生について著書を執筆しているほか、新聞の連載、雑誌・ウェブ媒体への寄稿も行っています。また、仲間と設立した「日本ジャーナリスト教育センター」で、地域発信の教科書「ローカルジャーナリストガイド」を発刊し、ワークショップなどを通してローカルジャーナリスト育成の取り組みも始めました。

### 実績

ローカルジャーナリストという新しい生き方・働き方を創出した



### 工夫した点や苦勞した点

きっかけは前職・山陰中央新報社での東京支社勤務で、島根をはじめとする地域のニュースがほとんど東京に届いていないと感じたことでした。地域から外に向けた発信の流れが細すぎるのではないかと。「ないなら、つくればいい」。地域の中をつなぐことはすでに地方紙が十分役割を果たしているため、やるべきは中と外をつなぐことだと考えて独立を決めました。

驚いたのは、多くの人から、独立を機に東京で活動すると誤解されたことでした。「立脚点と拠点は変わらず島根である」という決意表明を込め、ローカルジャーナリストという肩書きを自分でつくりました。

## ひとことPR

「過疎」という言葉の発祥地とされている鳥根県は全国で最も人口減少が進み、課題が表面化しています。だからこそ、鳥根で課題が解決できれば日本の課題解決につながると、若い人材が次々と移住し、教育や創業支援といった分野でチャレンジを始め、いま、とても面白くなっています。

ローカルジャーナリストの育成だけでなく、こうした新しい地域再生事例をお伝えすることもできますし、プライベートではJR全線に乗車したほど鉄道が大好きですので、ローカル鉄道の活性化のお手伝いもできればうれしいです。

## ○ 参考

### 取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

	1	地域経営改革		7	まちなか再生
	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進		10	環境保全
	5	定住促進	○	11	その他(ローカルジャーナリストの育成、ローカル鉄道の活性化)
	6	観光振興・交流			

### 関連ホームページ

オフィシャルサイト	<a href="http://www.tanakaterumi.com/">http://www.tanakaterumi.com/</a>
-----------	---